



5 年学年行事

「組子細工体験」

～五感で感じた伝統工芸～

7月10日、建具製作職種（家の中のドアや障子、窓などをつくる職人さん）の「ものづくりマイスター」の方々を講師としてお迎えし、5年生の学年行事「組子細工体験教室」が開催されました。

釘を一切使わずに「切り込み」や「ほぞ（凸）」を入れた細い板を組み合わせて、精密な文様を編み出していく日本古来の伝統技法です。

障子などの飾りとして受け継がれてきた職人の技に触れ、熱心にもものづくりに挑んだこども達の様子をレポートします。

「ものづくりマイスター」 ってなあに？

国が認めたものづくりの名人！
学校や会社へ行き、若い人たちに
プロのスゴい技を直接教える活動
をしています。

響くハンマーの音！親子で挑む枠作り

まずは、文様を入れるための枠を作り始めます。職人さんの丁寧な説明のもと、さっそく作業開始です。

完成品の画像と手元のパーツを見比べ、こども達からは「えー！なんで？」と驚きの声が上がります。

「きれいにはめ込まないと歪んでしまう」という職人さんの言葉に、最初は「難しい…」と不安そうな顔をしていましたが、いざ作業が始まると表情は真剣そのものに。

教室に響く「トントントン」という心地よいハンマーの音とともに、「こうかな？」「こっちを先にはめないと」「そこ押さえて」と親子で声を掛け合い、協力しながら一つひとつ枠を組み上げていきました。

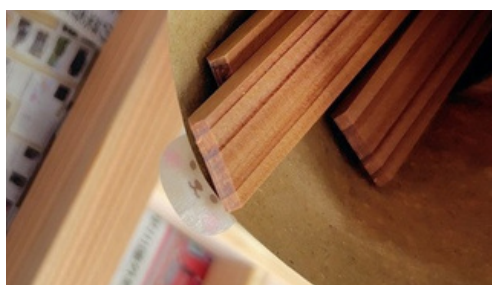


▲「トントントン」ピタッとはまったかな？



▲「こうかな？」「そこ押さえて」

かわいい封筒から漂う職人の世界



▲かわいく封をされた「職人の世界」！

枠が完成したら、次はいよいよ文様づくりです。一人ひとりに手渡されたのは、かわいいクマのシールで封をされた封筒。

「クマちゃんかわいい！」と喜んで封を切った次の瞬間、「うわ、何これ？！すごい匂い！」とこども達はびっくり！封筒の中に詰まっていたのは、組子細工の細かな木のパーツでした。

袋に閉じ込められていた組子細工ならではの独特な香りが一気に広がり、ちょっとしたハプニングに。これまでに嗅いだことのない「職人の世界」を五感で感じ取ったところで、細かな文様づくりのスタートです。

指先に集中！それぞれのこだわり

小さなパーツを指先でそっとつまみ、枠の中へと慎重に滑り込ませていきます。あちこちから、「むずかしい！」「でも、おもしろいね」と、賑やかな声が響きます。

少しでもズレると上手くはまらない難しさに苦戦しつつも、持ち前の集中力でクリア！

今回は伝統的な「麻の葉文様」がお手本でしたが、中には「他の形も作ってみたい！」と別の文様に挑戦する子の姿も。

それぞれのこだわりが詰まった、世界に一つだけの幾何学模様が少しずつ形作られていきました。

「ピタッ」とはまる、職人の技

パーツの切っ先は、驚くほど正確な60度。わずか0.1ミリのズレも許されません。

こども達が体験した「ピタッ」とはまる快感の裏には、職人の緻密な計算と技が隠されていました。



▲指先に集中、緊迫の瞬間……！



▲「むずかしい！」「でも、おもしろいね」

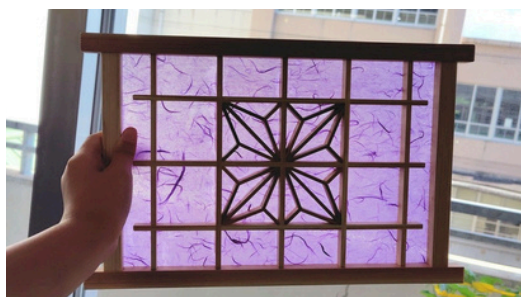
最後の難関、そして感動の完成へ



▲マイスターと一緒に、慎重に糊付け



▲賞状を持つように両手で広げてそっと…



▲感動の完成！「できた！」「よく頑張ったね！」

次はいよいよ、仕上げの和紙貼りです。

「もしかしたら、ここが一番難しいかもしれない」という職人さんの言葉に、教室の空気は一変。さっきまでの賑やかさが嘘のように静まり返り、こども達は真剣な表情で説明に聞き入ります。

職人さんに手伝ってもらいながら、枠へ慎重に糊をつけ、最後は「賞状を持つように両手で広げて」というアドバイスを忠実に守りながら、上からそっと和紙を貼っていきました。

「できた！」「きれい！」「鞠（まり）の模様みたい！」と喜びの歓声で、一気に笑顔が弾けるこども達。すぐ隣でずっと見守っていた保護者からも「本当にきれいだね」「よく頑張ったね！」とあたたかい言葉がかけられ、教室中が優しい笑顔と達成感で満たされていました。



▲「鞠（まり）の模様みたい！」「きれい！」

アニメから伝統へ！身近な文様の座学にこども達も大興奮

行事の最後に、文様についての座学が行われました。

スクリーンに出てきたのは、お馴染みのキャラクターたち！こども達から「我妻善逸だ！」「煉獄さん！」と大歓声が。身近なアニメを通じて、日本古来の伝統文様に隠された深い歴史を楽しく知るきっかけになりました。当日教えていただいた文様の中からいくつかピックアップしてご紹介します。

竈門禰豆子（かまどねずこ）×「麻の葉（あさのは）」

今回、見本にした文様！「魔除け」の力があるとされ、赤ちゃんの産着やこどもの衣服によく使われています。また、麻は丈夫で成長も早いことから「こどもの健やかな成長への願い」の意味も込められています。

我妻善逸（あがつまぜんいつ）×「鱗（うろこ）」

我妻善逸の衣装は、「鱗文様」をアレンジしたものです。三角形が並ぶ文様…実は「竜や蛇の鱗」を表したものだとか！脱皮になぞらえ、厄を落として再生するという意味で厄除けの文様とされてきました。

煉獄杏寿郎（れんごくきょうじゅろう）×「火焰（かえん）」

燃え上がる炎をかたどった文様。古くから火は神聖な魔除けとして縄文土器や仏像の後光にもみられます。形がどんどん変わる炎は、人間のいきいきとしたパワーを表すのにピッタリなので、歌舞伎にもよく使われています。

参加者の声

和紙がすこしやぶれたけど、きれいにできたのでよかったです。

本日は組子細工のものづくり体験とても楽しかったです。職人さんの素晴らしい技を実際にやってみて、とても、良い体験になりました。本当にありがとうございました。

はじめて組子細工をして、とてもむずかしかったけど、お母さんといっしょに協力できたので良かったです。次は、またちがうデザインでも作ってみたいです。おうちにかざりたいです。

伝統工芸の繊細さに驚きました。親子で、日本古来の伝統を肌で感じられる良い機会をありがとうございます。

丁寧にご指導くださったマイスターの皆様をはじめ、細やかにサポートしてくださった学年委員や保護者の皆様、本当にありがとうございました。皆様のあたたかいご協力のおかげで、笑顔あふれる最高の学年行事になりました。心より感謝申し上げます。